

## 2015年度「こどもなんでも体★験★団」

### 「ワンパク広場2015」

期間:7月26日(日)~7月27日(月)

場所:国立曽爾少年自然の家

名張市青少年育成市民会議の名張青年会議所と Kids サポータークラブ（中学生以上のジュニアリーダー）とが中心となって協力し、国立曽爾少年自然の家で2日間にわたり、竹馬作り・レクリエーション・キャンプファイヤー・火起こし体験・野外炊飯・アフリカの貧困問題についての学習・宣言ハガキの作成などを行ないました。

キャンプに参加した62名の子どもたち（小学校4年生～6年生）は家庭を離れ、友だちや Kids サポータークラブのお兄さんやお姉さんとともに1泊2日の間、知らなかった子どもたちとキャンプファイヤーや共同生活などを通して仲良くなり、協力することや相手の気持ちを考えること、集団行動のなかで時間を守ることの大切さや規則正しい生活習慣を持つことの大切さなど多くのことを学びました。

2日目の野外炊飯では、同じグループの友だちと一緒にカレーを作り、Kids サポータークラブのお兄さんやお姉さんと完成に向けて協力しながらそれぞれが取り組み、1つのものをみんなで作り上げる楽しさや喜びを感じていました。



主催 名張青年会議所、名張市青少年育成市民会議

### 「世界にひとつの行灯をつくろう！」

日時:平成27年10月3日(土)9:00~11:30

場所:名張市武道交流館いきいき 工芸室

春を呼ぶ会と名張市社会福祉協議会が中心となって、市内の小中学生対象で行灯づくりを行ないました。はじめに使われている材料についての説明を受け、行灯用の和紙4枚（4面分）に子どもたちが好きな絵を描き、色をつけ、あらかじめ土台に電球などを組み立てた行灯の骨組みへ貼り付けました。

参加した子どもたちからは、絵を描いたり組み立てたりするのが楽しかったという声が多く、子どもたちは、昆虫やキャラクター、俳句など思い思いに描き、苦労して貼り付けた世界でひとつの行灯が光ったときには嬉しそうな表情を浮かべていました。

今回の講座で作った行灯は10月10日・11日に名張市で開催される名張街道市の際に街道沿いの家屋の前で灯され、その後子どもたちへ返却されました。



主催 春を呼ぶ会、名張市社会福祉協議会、名張市青少年育成市民会議

## 「ふるさと再発見～オオサンショウウオから学ぼう～」

日時:平成27年10月24日(土)9:30～11:30

場所:名張市郷土資料館(旧錦生小学校)

市内の小学生を対象に名張市郷土資料館(旧錦生小学校)で国の天然記念物でもあるオオサンショウウオについて実際に見て、触れて学びました。

当日は、三重自然誌の会の清水善吉さんを講師として招き、講座室において、オオサンショウウオの特徴や生態・噛まれることの危険性などを映像も使いながら説明を受けました。その後、プールに移動して、プールで飼育されているオオサンショウウオ(固有種と外来種との交雑種)にエサをやり、実際に触り、写真を撮るなどしました。

参加した子どもたちからは、普段見ることも触ることもできないオオサンショウウオにエサをあげ、触れて楽しかった、説明を聞いてオオサンショウウオの生態を学べた、触ってみるとぬるぬるしていた、などの声があり、実物を見て、触れたからこそわかることも多く、子どもたちは貴重な体験を楽しんでいました。

今回の体験講座によって、特別天然記念物に指定されている貴重なオオサンショウウオが名張市に生息していることや、そのオオサンショウウオが外来種によって生態系が脅かされている問題などについて学ぶことができました。また、4月から開館した名張市郷土資料館で講座を行ったことで、子どもたちが自分の住むまちにあった郷土資料に触れて帰っていました。



主催 MIK運動推進委員会、名張市青少年育成市民会議

## 「ハロウィンランプづくり」

日時:平成 27 年10月24日(土)13:00~15:00

場所:名張市教育センター

名張 Kids サポータークラブが中心となって本物のかぼちゃを使ったハロウィンランプを作る講座を開催しました。初めに作り方の説明や注意を聞いた後、直径10cmほどのぼっちゃんかぼちゃの中身をスプーンでくり抜き、表面に目や口を描いてカッターナイフでくり抜いて、ろうそくを入れて火を灯しました。

参加した子どもたちからは、かぼちゃの中身をくり抜いて、目や口を工夫しながら作るのが楽しかった、自分だけのハロウィンランプを作ることができた、といった声が聞かれました。また、全員のランプが完成した後に、部屋を暗くしたうえでランプに火を灯した際には、教室内に歓声が広がりました。

この講座では、カッターナイフの正しい使い方を学ぶことも課題になっており、危険だから使わせないようにしてしまうのではなく、危険だからこそ正しい使い方を学ぶということを大切にしています。また、かぼちゃの中身をスプーンでくり抜く作業が、子どもにとっては難しいということで、事前の準備の際に切り込みをたくさんいれました。これによりどの子どももスムーズにくり抜く作業を行うことができました。



主催 名張 Kids サポータークラブ、名張市青少年育成市民会議

## 「箏・三弦 体験教室」

日時:平成27年12月5日(土)13:00~15:00

場所:名張市武道交流館いきいき 市民交流室

箏曲すみれ会が中心となって、名張市武道交流館いきいきで、箏や三弦などの和楽器を使う体験教室を行ないました。はじめに箏についての説明をした後で、「さくら」と「ジングルベル」の2曲を弾くための練習を行い、最後に子どもたち全員で楽しく合奏をしました。

どの子どもたちも、はじめは上手く弾けるか不安を持っていましたが、箏曲すみれ会の代表の岡田先生や会員の方による指導で、姿勢や指の使い方、弾き方など、基本的な練習を繰り返していくうちに慣れはじめ、1時間も経たない間に曲を弾けるようになりました。子どもたちは、箏に実際に触れたことで興味を持ち、先生が説明を始めると弾くのをやめ、しっかりと話を聞き、休憩中も箏を弾くなど熱心に取り組んでいました。

また、当日は欠席者が数名おり、空席があったので親も一緒に参加し、親子で合奏を楽しむこともできました。



主催 名張文化協会、箏曲すみれ会、名張市青少年育成市民会議

## 「ロープで遊ぼう！」

日時:平成27年12月6日(日)10:00~12:00

場所:美旗市民センター 多目的ホール

ボーイスカウト名張第3団が中心となり、名張市美旗市民センターでロープを使って様々なロープワークに挑戦する講座を開催しました。はじめに、自己紹介を兼ねたミニゲームを行い、交流を深めるためのレクレーションを行ない、その後、それぞれに配られたロープやポールを使い、様々なロープの結び方を学び、最後にはリンツ体験も行いました。

大人がやっても理解するまでに時間がかかる結び方もありましたが、子どもたちはスムーズに講座を進めることができました。また、リンツ体験（野営をする際にテントを使わずに、身近な材料を使って一夜を過ごすための三角形の屋根を作ること）では、ロープワークで学んだ結び方を実践し、思い思いの屋根を作り中に入って楽しんでいました。

参加した子ども達からは、「日常生活に使えるロープの結び方を知れてよかった。」「結び方を練習してリンツを作るのが楽しかった。」など講座を楽しむ声を聞くことができました。



主催 ポーイスカウト名張3団、名張市青少年育成市民会議

## 「夢新聞親子教室 ～みんなの夢をみんなで応援しよう～」

日時:平成28年1月30日(土)

場所:名張市武道交流館いきき 多目的ホールほか

「夢新聞プロジェクト」は長野で始まった「自分の夢が叶った未来の日付の新聞を作る」というワークショップで、子どもだけの教室、親子教室合わせてすでに全国で4000人以上が参加しています。今回は名張市PTA連合会主催で、夢新聞認定講師の上村晃一郎さんと山口佳久さんを迎えて、「夢新聞親子教室」を開催しました。場をなごませるゲームに始まり、どうしたら夢が叶えられるかなどのお話を聴き、巻物に書いてある指令書に従い、夢新聞を完成させていきます。前半は親子で夢新聞を作りますが、後半は親子が分かれて、親ワークと子どものワークを二人の講師がそれぞれ受け持ち、夢新聞をつくるだけではない、今までの子育てを振り返ったり親に感謝する場を作りあげていきました。

長時間でしたが、子どもたちが飽きずに新聞を完成させるためのしかけがいろいろと用意されており、親子で楽しみながら夢新聞を作り上げていました。子どもの年齢に幅があり、製作の進み具合にも差がありましたが、グループを作って全員が終わったらパズルの一部が1枚ずつもらえるようにしているため、早くできた子どもはまだの子どもを応援する、遅い子どもは早くできた子どもが待っているのががんばって書くといった様子もうかがえました。後半には、子どもから親へ感謝を伝えるサプライズがしかけられており、感動して涙ぐむお母さん、優しく子どもをみつめるお父さん、思わず子どもを抱きしめる人、嬉しそうな子どもたち、と会場は感動につつまれました。

子どもたちは最後に、ラミネート加工されて完成した夢新聞と少しはっきりしてきた自分の夢を持って帰ったことでしょう。



主催 名張市PTA連合会、名張市青少年育成市民会議